



愛用しているギター(写真)は、1963年製MOSRITE(モズライトUSA)。ザ・ムーンサルト結成を機に購入した



「昔の曲を中心に少しだけオリジナルを入れて、静かな曲を演奏したり、手拍子で盛り上がりがあったり、そんなステージにしていきたい」。今年もボランティアでの演奏から大きなイベントまで多くのライブ予定がある

# Myboom

## 私のマイブーム

西嶋 陽一(にしじま よういち)さん  
株式会社 TRUソリューションズ  
代表取締役社長  
エスカイヤクラブ赤坂店会員

## 青春時代を彩った音楽への思いを胸に 再びギターを手にして演奏する喜び

東京赤坂にあるライブハウス「エルカミーノ」。  
夜な夜なシニア世代を中心とした人々が集まり  
バンド演奏を楽しむ。  
曲は、'60~'70年代に流行したベンチャーズやGSなど。  
西嶋さんもそんな常連演奏客の一人だ。



今年の6月、エルカミーノで行われたF+S東京「ONE-Chance」ライブへの友情出演。リーダーは、かつて月面宙返りで世界をわかせたオリンピック金メダリストの塚原光男さん(右から二人目の白い帽子の方)

### 会員様向け伝言板

定年を迎える方は、お世話になった社会にお返しできる何かを持てればいいですね。趣味や地域の活動、後輩の指導など、自分の好きなことなら何でもいいと思います。商売ではなく将来につながる何かを、ひとりではなく誰かと一緒にできれば幸せだと思います。

【ザ・ムーンサルト】ホームページ  
<http://www.tru-solutions.jp/TheMoonsalt.htm>

ギターを始めたのは高校時代。大学では軽音楽部に入りGSバンドを結成。勤めてからも、お得意さんの集まりやスナックで演奏したりと、西嶋さんの青春時代は音楽三昧の日々だった。しかし次第に演奏の機会は減ってしまいいい...

しばらく遠ざかっていた音楽への情熱。ライブハウス「エルカミーノ」との出会いが再び西嶋さんの心に火をつけた。

「エルカミーノによく顔を出すようになって、自分もやってみたいなど...。一昨年、私の主催するイベントに出演するバンドに参加させてもらい、久しぶりに人前で演奏しました」

そんな時エルカミーノのオーナーの戸田さんが、「おやじバンドコンテスト」出場のためのバンド結成を呼びかけた。西嶋さんはサイドギターとして名乗りを挙げ、戸田さんをはじめ店の常連客がメンバーに。おやじバンド「ザ・ムーンサルト」の誕生だ。先のコンテストが初ライブとなり、昨年は11回ものステージをこなしてきた。そして結成から1年が過ぎて間もない今年の3月22日、NHKのシンアバンド版の自慢「オールディーズ天国 in 板橋」へ出場。西嶋さんらにとって忘れられない一日となった。

高校三年生、空に太陽がある限り...。青春歌謡メドレーをベンチャーズ風のアレンジで披露。最優秀賞「会場を湧かせたde賞」を受賞した。

「バンド結成以来始めての賞でした。この日は、エルカミーノで1周年記念ライブもあって、すばらしい1周年になりました」

演奏することの喜びは、

「普段の自分を忘れられます。うまいへたは気にしません。自分も楽しんで、お客さんも一緒に楽しんでもらえる。元気でいる限りやっていきたいです」

そう語る西嶋さんの笑顔はいきいきと輝いていた。